

Pichari ~ピチャリ~

七飯町歴史館だより

第184号

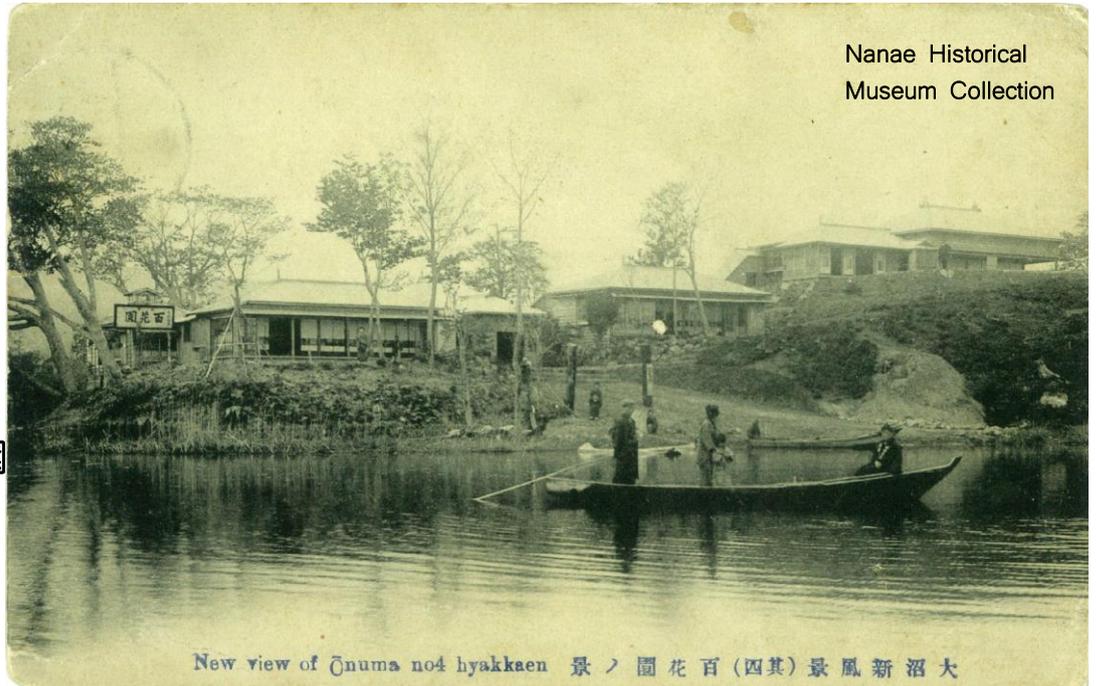
ななえ古写真物語 VOL.184

霧に包まれた百花園

絵葉書「大沼新風景」より

大正3年頃

大沼地区



最近、大量の大沼公園関係の古写真や絵葉書を寄贈いただいた。すでに所蔵していたものもあったのだが、見たことのない写真や絵葉書が多く、改めて、大沼公園の歴史を半ば強制的に勉強し直している所である。これまで紹介してきた写真では、断片的だったり遠くて不鮮明だった建物が、より鮮明な写真を使った絵葉書もちらほら見られた。上の写真もその一枚で、「百花園」という旅館の近景となる。ピチャリ第137号では、ぼんやりとしたシルエットだけ写っていた建物で、その名前は紹介していたのだが、これは、建物の構造がよくわかる良好な資料となっている。

写真をみると、三段の階段状となった平場に、それぞれ3棟の建屋を設け、階段になっていそうな通路でつながれている。最も下段の建物の傍には「大沼温泉 百花園」の看板もみられる。また、建物のすぐ眼下には湖面が広がっており、湖岸からすぐの所に門柱のような2本の柱が並んでいることから、車や徒歩での移動ではなく、船を用いなくては旅館への行き来が難しかった可能性もある。いずれにせよ、どこかゆったりとした、鷹揚な時代の片鱗が写真からはうかがえるし、開放的な部屋から臨む大沼の佳景は素敵だったろうと想像する。

ところで、この百花園の歴史について、詳しいことはよくわかっていない。「物語 大沼小史」によれば、明治37年に角吉なる人物の経営により開業したという。時期的には函樽鉄道が開業してまもなくであり、大沼がまだ公園化もしておらず、全国的にも知られていない時期といえる。また、現在の公園中心部や大沼公園駅からもやや距離が離れていたことを考えると、同書に「あまり振るわず、のちに経営者が変わりながらも、百花園の名前は残されてきた」と記されているのもうなずける。その後の経営の詳細を知る資料はいまのところ見かけないが、昭和16年に、日下部久太郎によって、ほぼ同じ場所に「山水」という旅館が建てられた経緯を踏まえると、旅館 百花園としては、多く見積もってもそれ以前までの経営であったと想像される。

現在も山水旅館の建物を見ることはできるが営業はしていない。また現地には周遊道路として車道が整備されたりと、往時の面影はほとんどみられない。一体、どのような内装でどんな人たちが宿泊したのか、約120年前にあった旅館の写真はあれど、その歴史は湖面から沸き立つ春霧にのまれるように、ぼんやりとしかわからないようである。

5月の予定

1日 兵器と作戦から見た箱館戦争

夜の博物館第4夜は、乙部町教育委員会学芸員の藤田氏を講師にお招きし、世界的な観点での戊辰戦争の位置づけや兵器、戦術という視点から考えた箱館戦争についてのお話しをして頂きました。戦い方の説明では、イギリス映画『バリー・リンドン』のシーンを見ながら、また幾つかの動画から、弾丸の装填方法、軍艦模型や模造銃を近くで見て、より深い理解へとつないでくれました。ちなみに戊辰戦争で使用された銃は15万丁もあるそうです。



18日 一年を振り返って

ジュニア探検クラブ最終日。子どもたちには、貴重な植物が群生する林の整備を手伝ってもらいました。ゴミをひろったり、木々を覆うツタをカットしてもらったりしながら、町に残る文化財と同じ扱いの植物の存在を学び、後世に伝えることの大切さを知ってもらいました。その後は、一年間の活動を写真で振り返り、感想を述べてもらいました。今年度は身の回りの自然を中心に学んだ一年でしたが、楽しんでもらったのなら嬉しいです。



企画展「旅の記憶、旅の記録」から。

開催中の企画展の参加型展示は、あなたが旅をしたことのある場所やこれから訪れてみたい場所を地図上にピンで刺してもらっています。途中経過ですが、旅をしたことがある場所の一位は、やはり北海道、続いて青森県、東京都。一方旅をしたい場所は、沖縄県が断トツでした。頑張りたいのは、秋田県、滋賀県、岐阜県、宮崎県など。5月15日まで開催していますので、皆さんぜひ参加してみてください。



1	月	企画展開催中
2	火	
3	水	憲法記念日
4	木	みどりの日
5	金	こどもの日
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	
11	木	
12	金	
13	土	
14	日	
15	月	企画展最終日
16	火	
17	水	
18	木	
19	金	ピチャリ第185号発行
20	土	
21	日	
22	月	
23	火	
24	水	
25	木	
26	金	
27	土	ジュニア探検クラブ
28	日	
29	月	
30	火	
31	水	

※5月の休館日はありません

史跡めぐり

自然が好きな方は巨樹や古木、歴史が好きな方は戊辰戦争関連など。ぜひ史跡や名所を訪れてみてください。



編集後記 ~tawagoto~
 春の花の代表格といえば桜だろう。今年は全国的に開花が早くなっている。桜が梅を追い立てるように咲いていく。足元に広がる花がいそいでいるようにも見える。花は場所の記憶と共に残る。新宿御苑のタイサンボク、街路樹のハナミズキ、東京博物館前のユリノキ。その場所で眺めた空、大木の存在感、花の名前や由来を知ったときの感動は、時々場所を変えても姿を表す。今年も自然を観察する目を事業を通じて、伝えるお手伝いをできたらと思う。

Pichari

~ピチャリ~

第184号
令和5年4月20日発行
七飯町歴史館

〒041-1193 亀田郡七飯町本町6丁目1-3
 電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182
 E-mail : rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp